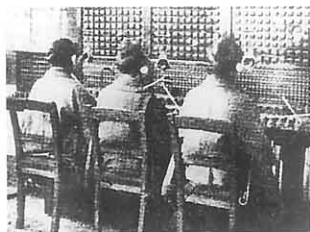


西暦・年号	
一九二四	(大正十三年) ハイヤーが走るようになる
一九二二	(大正十一年) 国鉄日立木駅ができる 足ぶみだっこくきが使われるようになる
一九二一	(大正十年) このころはじめてゴムながぐつをはく
一九二〇	(大正九年) 新沼浦のかんたく工事が始まる
一九一八	(大正七年) 松川漁港の工事が始まる
一九一七	(大正六年) このころまでじんべいわらじをはいて小学校に通う
一九一五	(大正四年) 自動車が多く走るようになる
一九一三	(大正二年) 自転車が使われ始める
一九一二	(大正元年) 中村町に電とうがつく このころのりあい馬車が走るようになる
一九一〇	(明治四十三年) 相馬製糸かぶしき会社ができる (中村町) 中村ゆうびん局で電話こうかんが始まる
一九〇八	(明治四十一年) 汽車からの飛び火で火事になる (八幡村)
一九〇七	(明治四十年) 荷車が多く使われるようになる おりものが手おりから機械おりになる
一九〇五	(明治三十八年) 松川浦の塩田が国の塩を作る場所になる
一九〇三	(明治三十六年) このころまで馬で物を運ぶことが行われる
一八九八	(明治三十一年) 海岸線(後の常磐線)がすべて開通する 農家で石油ランプを使うようになる
一八九六	(明治二十九年) 鉄道の工事が始まる
一八九五	(明治二十八年) 水田を馬でたがやすことが始まる
一八九二	(明治二十五年) 福島みんぼう新聞がはじめて出される
一八九〇	(明治二十三年) 八幡小ができる
一八八九	(明治二十二年) 国道第一五号(久之浜―相馬)ができる
一八七七	(明治十年) 玉野小ができる 中村警察署ができる
一八七四	(明治七年) 磯部小ができる
一八七三	(明治六年) 中一小・中二小・飯豊小・大野小・日立木小・山上小ができる
一八七二	(明治五年) 中村郵便局ができる

相馬市のあゆみ

おもなできごと



日本最初の電話交かん室



わらじとわらぐつ